

報道関係者各位

いみず
富山県射水市と「ゼロカーボンシティ実現に向けた
マイボトル利用促進に関する連携協定」を締結

浄水型ウォーターサーバーのレンタル事業を行うウォータースタンド株式会社（本社：埼玉県さいたま市、代表取締役社長：本多 均、以下当社）は、2025年4月17日（木）に富山県射水市（市長：夏野 元志）と「ゼロカーボンシティ実現に向けたマイボトル利用促進に関する連携協定」を締結したことをお知らせいたします。



▲（右より）射水市長 夏野 元志様、ウォータースタンド株式会社取締役関西第二支社長 丸山 清治

■射水市長 夏野 元志様コメント

「射水市ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、2050年カーボンニュートラル実現を目指している本市としては、ウォータースタンド株式会社が提供するマイボトル対応型給水器を活用した水筒などのリユース可能なボトルの利用促進は使い捨てプラスチックボトルの使用抑制や温室効果ガス排出量の削減につながることから、本日の協定締結を契機とし、本市における循環型社会の形成とカーボンニュートラル実現に向けて共に取り組んでまいりたいと考えております。

本市では、今年度から新たに「ゼロカーボンシティいみず推進事業」を展開し、市民や事業者の皆様をはじめ射水市に関わる全ての方が一丸となり、脱炭素に向けた様々な取組を推進することとしており、今回のウォータースタンド株式会社との連携によるマイボトル対応型給水器の整備やマイボトル利用促進の取組についても、本市におけるカーボンニュートラル実現につながるものと期待しています。

■協定の概要

本協定は、射水市と当社が連携・協力し、プラスチック製品の使用抑制や廃棄物の発生抑制、リユースの推進を通じて「ゼロカーボンシティいみず」を実現するために、マイボトルの利用を促進しライフスタイル変革を推し進めることを目的として締結するものです。

射水市と当社は、使い捨てプラスチック削減に向けた率先行動として同市の公共施設等にマイボトル対応型の給水器「いいみず いみず ウォーターサーバー」を設置し、ペットボトル及び使い捨てプラスチック製品等の使用抑制に向けて連携協力して参ります。

■射水市ホームページ

市内公共施設にマイボトル対応型給水器「いいみず いみず ウォーターサーバー」を設置しました

<https://www.city.imizu.toyama.jp/event-topics/svTopiDtl.aspx?servno=30909>

■射水市の環境政策

射水市は「未来につなげる豊かな自然 協働で創る環境のまち いみず」を目指す将来像に掲げ、「2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロ」を目指すゼロカーボンシティ宣言を行い、地球温暖化対策実行計画を策定しています。同計画においては、再生可能エネルギーの利用促進や省エネルギーの推進のほか、ごみの分別収集や一般廃棄物処理、リサイクル推進に力を入れ、ごみ減量化にも取り組んでいます。また、地域の豊かな自然資源である生態系や生物多様性を保持するためにビオトープの形成・維持管理などをNPOと連携して推進し、人と自然が共生できるまちづくりを目指しています。これらの取組において市民、事業者、行政が一体となって持続可能な社会の実現を目指す活動を実施しています。

射水市と当社は、本協定の下で「ゼロカーボンシティいみず」実現を目指し、公共施設などにマイボトル対応型給水機を設置しペットボトル等の使い捨てプラスチック製品の使用抑制とプラスチックごみ削減を推進します。マイボトルへの給水を通じた環境意識啓発と行動変容に取組み、持続可能な社会の実現に向けて協働するとともに、当社のこれまでの知見を活用し地域一体で社会課題解決に寄与して参ります。

■ウォータースタンドについて

浄水型ウォーターサーバー「ウォータースタンド」は、ボトル不要でいつでもおいしい飲料水が使える利便性の高さ、運搬や使い捨て容器を必要としないエコな給水システムが支持され、子育て世帯を中心とした個人宅や、SDGs達成に取組む法人、大学などに支持されています。

・当社の使い捨てプラスチックボトル削減に向けた取組

当社は使い捨てプラスチックボトル 30 億本の削減をミッションに掲げ、射水市を含め全国の地方公共団体・教育委員会と「ボトルフリープロジェクト」を推進しています。当社の「ボトルフリープロジェクト」は、誰もがアクセスできる水道水を活用し環境負荷が少ない給水スタンドを整備し、マイボトル活用を推進するものです。

